



# GREEN LETTER

## グリーンレター

**Vol. 218**

2014/10/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

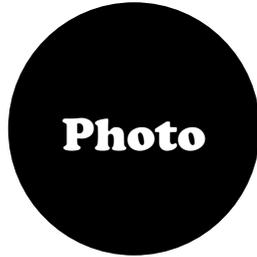
GREEN COLUMN

01. ツユクサのカタチ

02. 博物館に迷い込んだクワガタムシ



今月の一枚



## 「青色の記憶」

表紙写真・文／城坂結実

本州にいた時分、ツユクサは、暑い夏の最中に青色の花を咲かせる涼しさげな花、という印象でした。田んぼの畦にたくさん咲くツユクサの花を集めては、色水をつくるのが、子どもころの楽しみでした。

北海道にきて、ツユクサを見ると、なつかしい暑さを思い出します。

# Event. 今月のイベント

特別展「ボクたちの町にくらす野鳥」 7月6日(日)～10月26日(日)

プチ工房「草木染めコースター」 10月9日(木),16日(木)

博物館開館記念日 10月13日(月)

モノ作り講座「革でつくるブレスレット」 10月24日(金),25日(土)

第6回自然講座「シマフクロウは美幌町に暮らせるのか」 10月11日(土),12日(日)

# Information. 参加者募集

## 博物館開館記念日

●10/13(月)9:30-16:00 もちつき体験、もちの無料配布(先着300名)(10:00-11:00),せんべい焼き体験(10:00-16:00),学芸員による特別展 展示解説(10:00-16:00) ●美幌博物館 ●無料 ●美幌博物館 スタッフ ●申込み不要

## プチ工房 「草木染めコースター」

●10/9(木),16(木)10:00-12:00,13:00-16:00 自由に入室。作品ができたら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費(2枚セット50円) ●城坂結実(美幌博物館) ●申込み不要

## モノ作り講座 「革でつくるブレスレット」

●10/24(金),25(土)【午前の部】10:00-11:30【午後の部】14:00-15:30 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費・保険料(300円、ビーズつきは+200円) ●城坂結実(美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み(10/1-10/23)。対象は幼児から一般、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要、定員16名で締切。申し込み後のキャンセルは10/23まで。

## 第2回歴史講座 「身近な遺跡に行ってみよう」

●11/3(月)9:30-12:00 ●リンナイチャシ遺跡(美幌町)、ツペットウンチャシ(津別町) ●保険料(100円),野外で活動できる服装,雨具 ●八重柏誠(美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み(10/1-10/29)。キャンセルは10/29まで。それ以降は保険料100円がかかります。対象は小学生から一般、小学校4年生以下は保護者の同伴が必要、定員25名で締切。

## 博物館 一時閉館のお知らせ

暖房設備等の改修工事を行うため、平成26年11月4日(火)～平成27年2月16日(火)の期間中閉館いたします。みなさまには、大変ご迷惑をおかけしますが、よろしくお祈いします。

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用,持ち物 ●講師 ●申込み方法

今月の休館日

6日, 14日  
20日, 27日

## 01 GREEN COLUMN

グリーンコラム

# ツユクサの カタチ

写真・文／城坂結実



子どもの頃、たくさん遊んだツユクサの花は、美幌博物館のまわりで9月に入りみかけるようになりました。花は小さくとも、鮮やかな青色は、草むらの中でも存在感を放ちます。とはいえ、身近な草花は、近づいてじっくり観察する機会は少ないものです。今回は、そんなツユクサの花のカタチに注目してみましょう。

写真は、ツユクサの花を少し上から撮ったものです。咲いている花の上にあるつぼみのようなものは、前日に咲き、しぼんだ花。ツユクサは一瞥すると、1つの個体に1つの花だけをつけているようですが、実は数個の花を持ち、毎日1つずつ花を咲かせているのです。同じ個体の中で、一度にたくさんの花を咲かせないのは、自家受粉(自分の花粉が自分のめしべにつくこと)を防ぐ仕組みかもしれません。しかし、1日経ってもどうしても受粉できない

場合は、自家受粉を行うようです。夕方になり、花が役目を終えてしぼむ際に、めしべとおしべが巻き上がり、自家受粉が起こります。

これだけでも、小さな花に潜む仕かけには感心させられてしまいますが、さらに巧妙な仕かけがあります。それは、おしべのカタチ。ツユクサといえば、鮮やかな3本の黄色のおしべが印象的ですが、実はこれは仮のおしべで(仮雄蕊(かりゆうずい)といいます)花粉を出しません。受粉に貢献する花粉を出すのは、下の方にある目立たない2本のおしべです。また、花の中心にはW型のおしべが1本がありますが、どうやら下の2本の花粉を、花に訪れた昆虫の体につけるためにあるようなのです。

ツユクサのカタチには、子孫を残すための様々な秘策が、隠されています。



【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 ( 72 ) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

## 学芸員のつぶやき



.....

真夜中に、「ルーラー」という突然の音で目が覚めました。何かと思って電気をつけて辺りを見ると、枕元で1匹のカンタン（コオロギの仲間）が鳴いていました。どこから家の中に入り込んだのか?? 電気を消すと、また優しい声で鳴き始めました。おかげで、久しぶりに、優雅な気持ちで、ぐっすりと眠ることができました。(鬼丸)